

パロマ

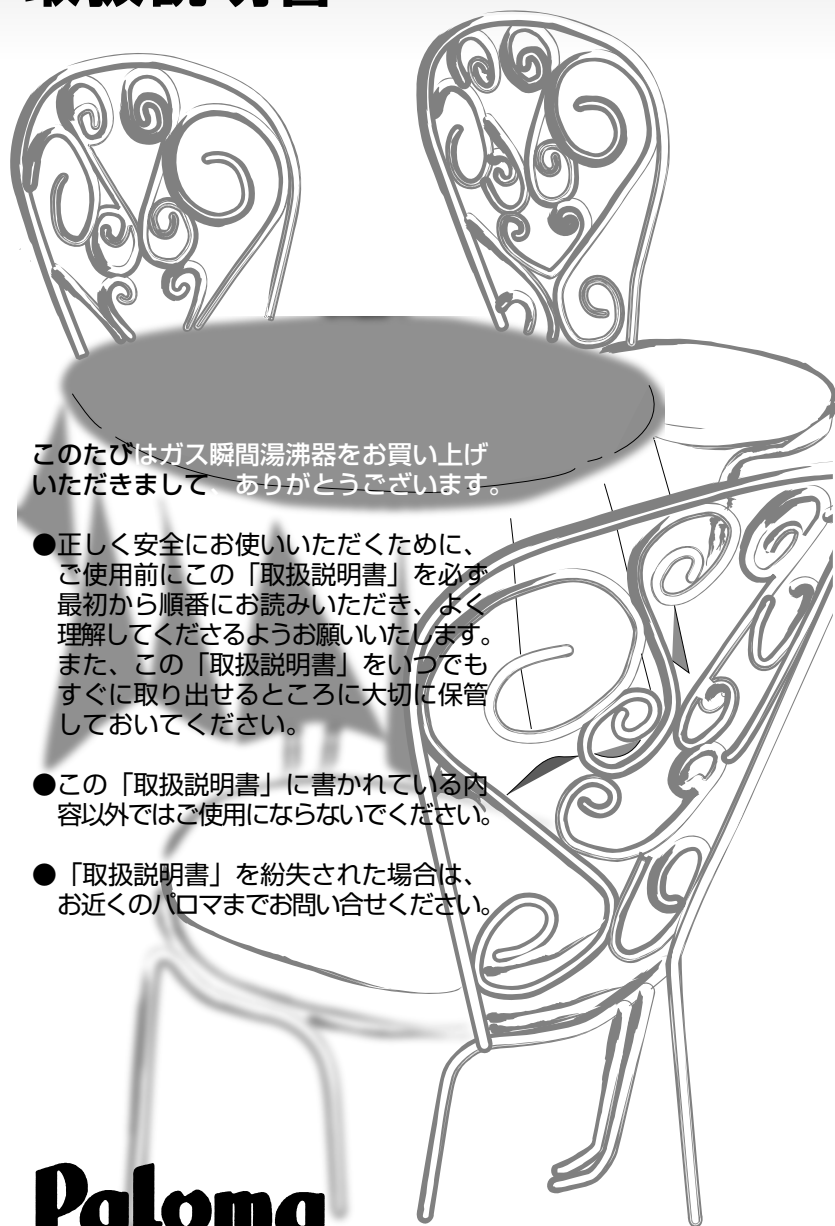
ガス瞬間湯沸器

保証書付

型式名
PH-81HS
PH-101HS
PH-161HS
PH-161DHS
PH-161DHS-1

PH-81HS
PH-101HS
PH-161HS
PH-161DHS

取扱説明書



このたびはガス瞬間湯沸器をお買い上げ
いただきまして、ありがとうございます。

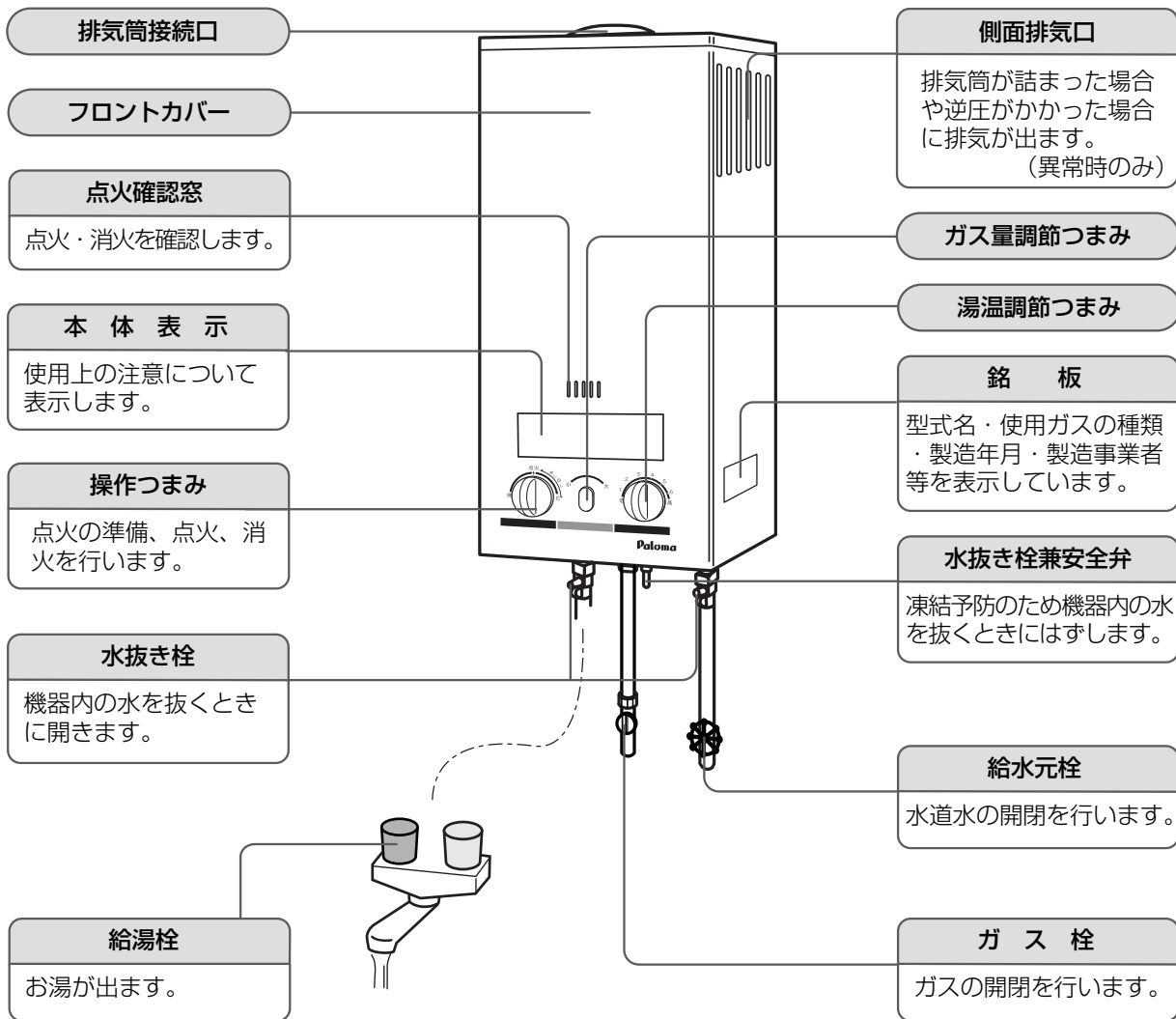
- 正しく安全にお使いいただくために、
ご使用前にこの「取扱説明書」を必ず
最初から順番にお読みいただき、よく
理解してくださるようお願いいたします。
また、この「取扱説明書」をいつでも
すぐに取り出せるところに大切に保管
しておいてください。
- この「取扱説明書」に書かれている内
容以外ではご使用にならないでください。
- 「取扱説明書」を紛失された場合は、
お近くのパロマまでお問い合わせください。

もくじ

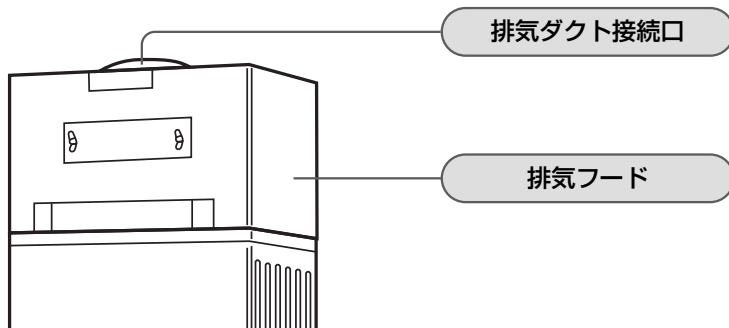
各部のなまえ	1
必ずお守りください	2
準備と確認	7
使いかた	7
湯温・ガス調節のしかた	9
点検とお手入れ	10
故障かな?と思ったら	11
凍結を防ぐには	13
仕様	15
保管とアフターサービス	18
保証書	裏表紙

Paloma

各部のなまえ






■PH-161DHSの場合



必ずお守りください

【安全に正しくお使いいただくために】

製品を正しく安全にお使いいただくためや、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにこの取扱説明書および製品への表示では、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 危険	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が重傷を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示について次のような意味があります。



一般的
な禁止



火気禁止



接触禁止



分解禁止



必ず行う



発火注意



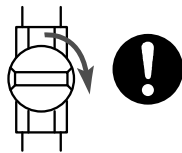
高温注意

危険

■ガス漏れ時の使用厳禁

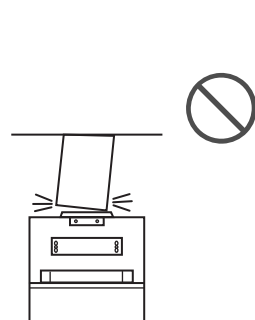
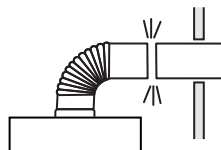
ガス漏れに気付いたときは、ガス事業者の処置が終わるまでの間、絶対に火を付けたり、電気器具（換気扇その他）のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差しおよび周辺の電話を使用しない
→炎や火花で引火し火災のおそれがあります。

- ①すぐに使用を止め、ガス栓を閉める
- ②窓や戸を開けガスを外へ出す
- ③お近くのガス事業者まで連絡する



■排気筒、排気ダクトの定期点検

排気筒（排気出口）、排気ダクトが外れたりつまったり、ふさがっていないか点検する
→排ガスが室内に漏れて一酸化炭素中毒の原因となり危険です。



必ずお守りください

警告

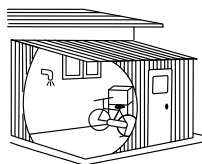
■機器の設置（および付帯工事）

機器の設置・移動および付帯工事は、必ずお買い上げの販売店かお近くのパロマに依頼し、安全な位置に正しく設置して使用する



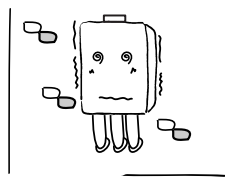
設置後、機器の排気出口を波板やビニールなどで囲んで屋内状態にしない

→不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。



この機器はねじ接続です。接続は配管技能者が行う必要がありますのでお買い上げの販売店かお近くのパロマにご相談ください。

この機器は屋内用のため絶対に屋外に設置しない
→風により炎が機器の外にあふれて火災のおそれがあります。また雨水の侵入や炎が風にあおられて故障の原因になります。



■使用ガスについて

機器の銘板に表示してあるガス種（ガスグループ）の適合を確認する

→表示のガス種が一致しないと、爆発着火ややけどしたり、機器が故障したり、不完全燃焼防止装置が働く原因になります。特に転居した場合は必ずガスの種類が一致しているかどうか確認する

*わからない場合はお買い上げの販売店かお近くのガス事業者（供給業者）に連絡する

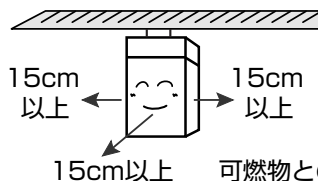
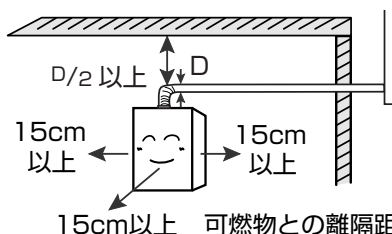
ガス瞬間湯沸器 不完全燃焼防止装置付
型式名
ガスの種類 (ガスグループ)
ガス消費量
製造年・月・製造番号
製造事業者名



■火災予防

機器および排気筒（排気出口）、排気ダクトの周囲には何も置かない

→火災の原因になります。

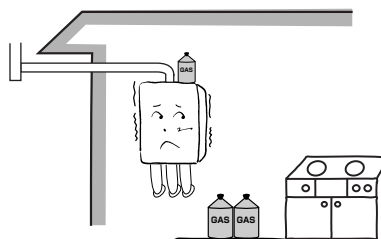


機器および排気筒（排気出口）、排気ダクトの周囲や上にスプレー缶、カセットこんろ用ボンベなどを置かない

→熱でスプレー缶内の圧力が上がり爆発するおそれがあります。

機器および排気筒（排気出口）、排気ダクトの周囲ではスプレー、ガソリン、ベンジンなど引火のおそれのあるものを使用しない

→引火して火災、やけどのおそれがあります。



■換気に注意

換気口・給気口は常に確保し、物などでふさがない
また、機器を使用の際は台所や脱衣所などの換気扇を使用しない

→室内に排気ガスが入って不完全燃焼防止装置が働く原因になります。



警告

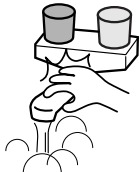
■やけどに注意

シャワー（上がり湯）を使う場合は、手のひらで湯温が安定したことを確かめてから使用する
→最初に熱いお湯が出ることがあるため、やけどのおそれがあります。

やけど防止のために出始めのお湯は体にかけない
→お湯を止めた後に再使用するとき、お湯の量を急に少なくしたとき、給水圧が下がったとき、あるいは、万一機器の故障の際に一瞬熱いお湯が出ることがあります。



給湯使用時は給湯管（蛇口）が熱くなるのでやけどに注意する



湯量を少なくするときはゆっくり、しぼりすぎないようにする

→急に行ったり、しぼりすぎたりすると熱いお湯が出ることがあります。また消火することもあります。



熱いお湯を使用後は湯温を「低温」に戻す
熱いお湯を使用直後にぬるい温度に下げた場合、しばらく流してから使用する

→配管内の熱いお湯が出てしまうまですぐにぬるいお湯にはなりませんのでやけどのおそれがあります。



シャワー、給湯使用中は使用者以外はお湯の温度を変更しない

→突然熱湯が出てやけどしたり、冷水が出てびっくりすることがあります。

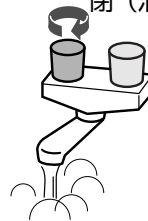
■異常時の処置

- ①使用中に異常な燃焼、臭気、異常音、異常な温度を感じた場合はただちに使用を中止する
- ②「故障かな?と思ったら」(11ページ~)に従い処置する
- ③上記の処置をしても直らないときは使用を中止しお買い上げの販売店かお近くのパロマまで連絡する

地震、火災などの緊急の場合は迅速に使用を中止しガス栓を閉じる

*再びお使いになる前に必ずお買い上げの販売店かお近くのパロマまで点検を依頼してください。

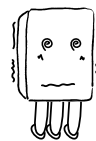
閉（消火）



■分解禁止

修理技術者以外の人は絶対に分解したり修理・改造は行わない

→異常作動してけがの原因となります。



■使用中の外出禁止

火をつけたまま就寝や外出は絶対にしない

→火災の原因になります。



■フロントカバーをはずさない

フロントカバーは絶対にはずさない

→はずしたまま使用すると、あふれた炎が可燃物に引火して火災になったり、安全装置が働かなくなるおそれがあります。



必ずお守りください

■PH-161DHSをお使いのかたは、下記の「警告」についても必ずお守りください。

警告

■排気に注意

メインダクトの排気ファンが停止しているときは使用しない

→室内に排ガスが逆流し、不完全燃焼防止機能が働く原因になります。



■機器の設置

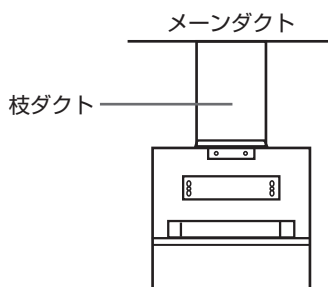
必ずこの機器一台辺り830m³/hの規定風量が確保できる排気ダクトに接続する



■機器の設置

この機器は排気ダクト直結式であり、排気筒により単独で屋外へ排気するような設置はしない

→排ガスが室内に逆流し、不完全燃焼防止機能が働く原因になります。



注意

■用途について

給湯・シャワー以外の用途には使用しない
→思わぬ事故の原因になることがあります。



■やけどに注意

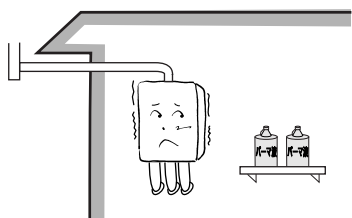
使用中や使用直後は機器本体、排気筒（排気出口）、排気ダクト、点火確認窓とその周辺は高温になっているので、操作部以外は手を触れない
→やけどのおそれがあります。



■薬品類に注意

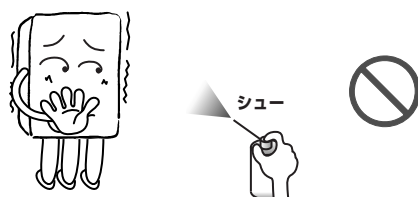
機器と同室内で特殊薬品を使用したり、保管しない

→気化した特殊薬品（パーマ液、アンモニア、イオウ、塩素、エチレン化合物、酸類など）が機器内に入り、故障や不完全燃焼防止機能が働く原因になります。



■スプレー類について

機器と同室内でシリコンを含むスプレー（ヘアスプレー、静電気防止スプレーなど）を使用しない
→電気部品の故障の原因になります。



注意

■補修用性能部品および補助具について

補修用性能部品および補助具は、当社の純正部品以外は使わない

→当社の純正部品以外のものを使用した場合の機器の故障、事故については、当社では責任を負いかねます。



■温泉水や井戸水・地下水の使用禁止

温泉水や井戸水・地下水を使わない
上水道を使用する

→水質によっては機器の破損および水漏れの原因となります。

* 温泉水や井戸水・地下水をお使いになって生じた故障についての修理・補修費用はお客様の負担となります。



おねがい

■点火・消火の確認

使用時の点火、使用後の消火を確認してください。

■水をお使いのときは

機器本体を「切」にして給湯栓側で水を使用することは、故障の原因になりますので避けてください。水をお使いのときは必ず給水栓側を開いてください。

■飲用にお使いのときは

朝一番などのように長時間使わなかった後、お使用始めのまだぬるいお湯（洗面器一杯程度）は念のため雑用水としてお使いいただき、その後飲用水としてお使いください。

■防熱板（別売）の取付けについて

湯沸器を可燃性の壁面に設置する場合は、防熱板（別売）を取り付けてください。

■断水のときは

断水時は運転を停止しますので、給湯栓を閉めておいてください。

（通水後は改めて操作してください。）

* 断水後は配管内に空気が入っているためすぐに運転すると空だきのおそれがあります。いったんガス栓を閉めた状態で給湯栓を開け、水が出るのを確認してから使用してください。

■特監法対象機器

この機器の設置および変更工事は、法律（特定ガス消費機器の設置工事の監督に関する法律）に基づいて行い、工事完了後、器体（機器本体）に法定のステッカー（表示ラベル）を貼り付けることになっておりますので、確認してください。

準備と確認

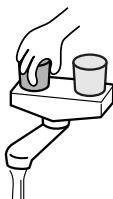
1 給水元栓を全開にする

つまみは左に止まるまで回し、必ず全開で使用してください。



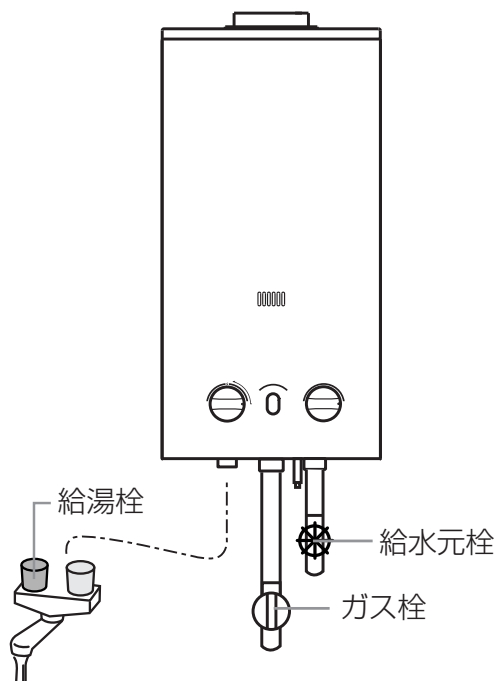
2 給湯栓から水の出ることを確認する

確認後は必ず給湯栓を閉じてください。



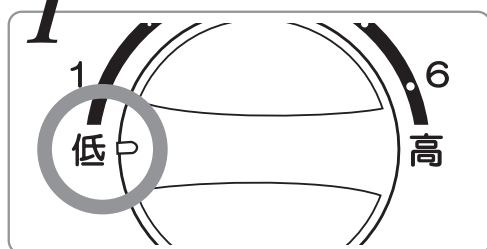
3 ガス栓を全開にする

必ず全開で使用してください。



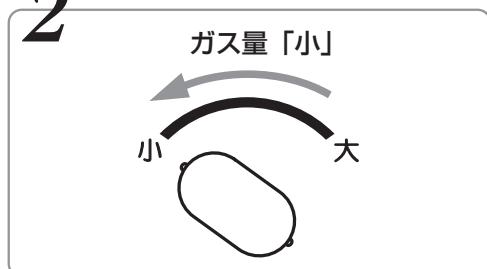
使いかた

1



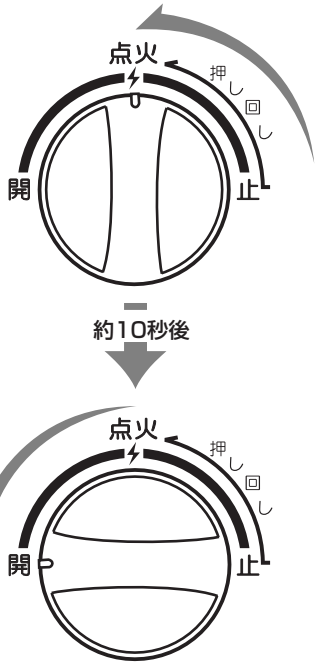
湯温調節つまみが「低温」の位置にあることを確認する

2



ガス量調節つまみが「小」の位置にあることを確認する

3



①操作つまみをいっぱい押しながら、「点火」の位置までゆっくり回し、そのまま約10秒間押し続ける

- 手を離してもパイロットバーナの炎がついていることを点火確認窓より確認してください。
- 工事が終わってパイロットバーナに初めて点火されるときはガス配管中に空気がたまっていますので、点火操作を繰り返してください。

②操作つまみを「開」の位置まで回す



注意

給湯栓から水を流しながら操作しない

→「開」位置に回したとき、メインバーナの炎があふれて危険です。

点火確認窓に目をあまり近づけない

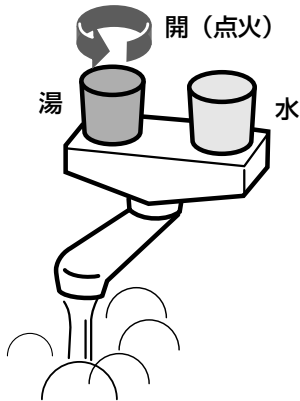
→熱でやけどのおそれがあります。

PH-161DHSは排気ダクト直結型ですので使用前に必ず排気ダクトのファンを運転（回転）させる

排気ファンが運転していないときは機器を使用しない

→室内に排ガスが逆流し、不完全燃焼防止機能が働く原因になります。

4



給湯栓を開ける

- メインバーナに点火して、お湯が出ます。
- 次ページを参考にして、お好みの湯温に調節してください。



注意

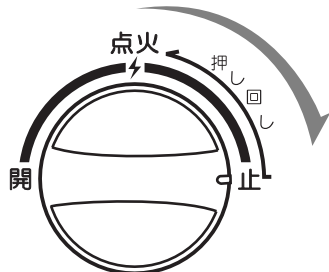
お湯を止めた後すぐに使用するときには、出始めのお湯に触れない

→熱いお湯が出ることがあり、やけどのおそれがあります。

給湯栓を閉める

- メインバーナが消火してお湯が止まります。
- *以後は、パイロットバーナをつけておけば、給湯栓をあけるとメインバーナに点火してお湯が出ます。

5



使用後は操作つまみを「止」の位置まで戻す
必ず湯温調節つまみを「低」、ガス量調節つまみを「小」にもどす



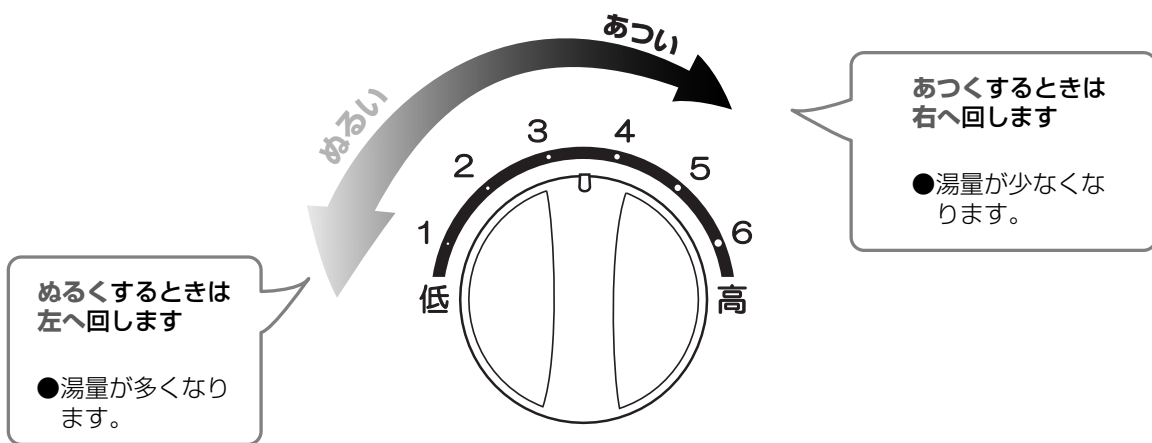
注意

→もどさないで次にご使用のとき、思わぬ高温のお湯が出てやけどのおそれがあります。

- パイロットバーナが消火します。

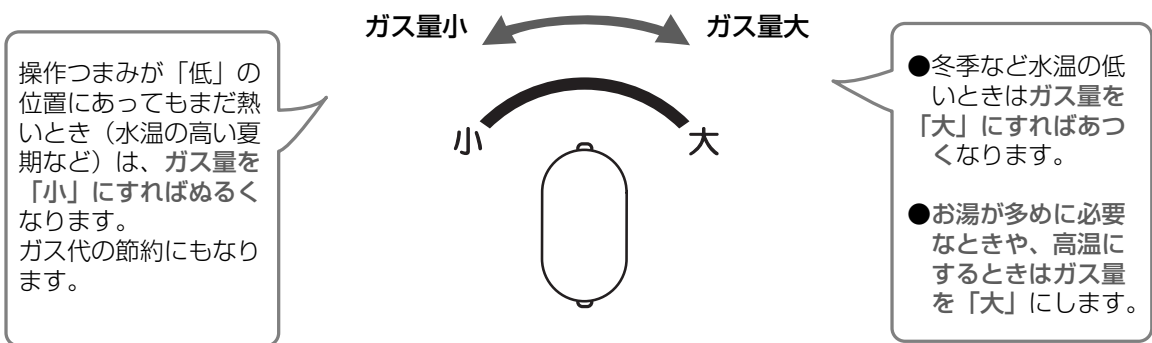
使いかた

湯温の調節のしかた



ガス量の調節のしかた

湯温調節をした後、さらにガス量を調節することできめ細やかな温度に対応できます。



点検とお手入れ

- 機器を安全・快適にお使いいただくために日常の点検・お手入れは定期的に必ず行ってください。そのときは、ガス栓を閉め、機器が冷えてから行ってください。
- お手入れの際、指先には十分注意してください。

点 検

- 機器のまわりに燃えやすいものはありますか？
- 外観に異常はありませんか？
- 運転中に異常音は聞こえませんか？
- 排気口をふさいでいませんか？
- 機器や配管からのガス漏れ・水漏れはありませんか？
- 使用中の炎は正常ですか？
- パイロットバーナの炎が小さくなっていませんか？
- 排気筒、排気ダクトがはずれていたり、ふさがっていませんか？
- 排気フード部より油がたれていませんか（PH-161DHS）？

お手入れ

水気をしぼった布に台所用中性洗剤を含ませ、軽くふき、乾いた布で洗剤分と水気を十分ふきとります。

おねがい

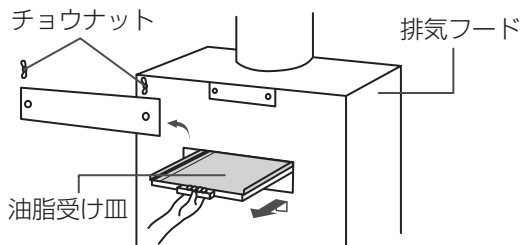
- 機器本体をたわしやブラシなどでこすらないでください。
- 湯温調節部は水垢等により作動不具合になることがありますので、月に2～3回程度湯温調節つまみを動かしてください。
- 中性洗剤以外の洗剤、シンナー、ベンジン、みがき粉、スチールウールなどは使用しないでください。表面がキズつきます。また、レンジクリーナーなどのアルカリ性洗剤は塗装がはがれるおそれがあります。
- 機器外装のお手入れの際、銘板と本体表示をはがさないでください。
- 本体は子供がいたずらしないように注意してください。
- 点検・お手入れ後は、給湯栓を開け機器が正常に作動するかどうか確認してください。
- 故障または破損したと思われる場合は使用しないでください。
- 故障したときは、お買い上げの販売店かお近くのパロマにご相談ください。お客様自身での修理は絶対にしてしないでください。

■油脂受け皿のお手入れ（PH-161DHSの場合）

油脂受け皿は排気フード部のチョウナット（2ヶ）をはずして前板をはずし、油脂受け皿の取っ手の部分を少し上に持ち上げて引き出し、行ってください。

おねがい

- 使用頻度によっても異なりますが、油脂受け皿のお手入れは1ヶ月に1回以上行ってください。
- 油脂受け皿のお手入れには可燃性の溶剤、その他可燃性の掃除剤を使用しないでください。



定期点検のおすすめ

機器のご使用に支障がなくても、2年に1度程度（業務用にお使いで使用頻度の高い場合には1年に2回程度）にバーナや各部の作動が“正常”かどうか点検するのが安全で長期間使用していただくための“ひけつ”です。お買い上げの販売店かお近くのパロマまでご相談のうえお申しつけください。（有料）

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、次のことをお調べください。下記の現象に当てはまらないとき、また処置をしてもなお異常があるときは、お買い上げの販売店かお近くのパロマまでご連絡ください。

現象	原因	処置方法	参照ページ	
パイロットバーナが 点火しない 点火しにくい	ガス栓が閉めてある	ガス栓を全開にする	7	
	ガス栓の開き不十分	ガス栓を全開にする	7	
	点火操作が不適切	「使いかた」に従う	8	
	ガス配管に空気が残っている	点火操作を繰り返す	8	
	LPガス使用の場合、LPガスがなくなりかけている	ボンベを交換する	—	
メインバーナが 点火しない 点火しにくい	安全装置が作動している	次ページ参照	12	
	ガス栓の開き不十分	ガス栓を全開にする	7	
	給水元栓が閉めてある	給水元栓を全開にする	7	
	給水元栓の開き不十分	給水元栓を全開にする	7	
	点火操作が不適切	「使いかた」に従う	8	
	断水している	使用をいったん中止する	6	
	凍結している	解凍するまで使用を中止する	13/14	
	給湯栓をしぼりすぎている	給湯栓をもっと開く	8	
	水抜き栓を確実に締め込んでいない	確実に締め込む	14	
	点火つまみを「開」の位置にしていない	「使いかた」に従う	8	
	LPガス使用の場合、LPガスがなくなりかけている	ボンベを交換する	—	
	パイロットバーナが 消火する	ガス栓の開き不十分	ガス栓を全開にする	7
		安全装置が作動している	次ページ参照	12
LPガス使用の場合、LPガスがなくなりかけている		ボンベを交換する	—	
メイン バーナが 消火しや すい		PH-81HS PH-101HS PH-161HS	給水元栓の開き不十分	給水元栓を全開にする
	断水している		使用をいったん中止する	6
	安全装置が作動している		次ページ参照	12
	給湯栓をしぼりすぎている		給湯栓をもっと開く	8
	LPガス使用の場合、LPガスがなくなりかけている		ボンベを交換する	—
	PH-161DHS	メーンダクトの排気ファンが停止している	排気ファンを運転させる	5
		メーンダクトの風量が低下している	点検・修理を依頼する	—
高温のお湯が出ない	ガス栓の開き不十分	ガス栓を全開にする	7	
	湯温調節が不適切	「使いかた」に従う	9	
	LPガス使用の場合、LPガスがなくなりかけている	ボンベを交換する	—	
低温のお湯が出ない	湯温調節が不適切	「使いかた」に従う	9	
	水温の高い季節に給湯栓をしぼって使用している	給湯栓をもっと開く	8/9	
高温では点火する が低温ではしない	給水元栓の開き不十分	給水元栓を全開にする	7	
	給湯栓をしぼりすぎている	給湯栓をもっと開く	8	
黄色の炎で燃える	LPガス使用の場合、LPガスがなくなりかけている	ボンベを交換する	—	
水抜き栓兼安全弁から ときどき水滴が落ちる	機器内に高い圧力が生じた場合、安全弁の動きにより水抜き栓からときどき水滴が落ちることがありますが水漏れではありません。（床が濡れて困るときは、ビニールホース等で支障のない所へ排出してください。）			
お湯が白く濁って 見える	水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、大気圧まで急速に減圧されることによって細かい泡となつて出てくる現象です。ビール、サイダー等の泡と似た現象であり、汚濁とは違い無害です。			
寒い日に排気口から 白い煙が出る	外気温が低いときに、排気ガス中の水蒸気が白く見えますが故障ではありません。			

安全装置について

立消え安全装置…… 炎が風などで消えると、自動的にガスを止めます。

不完全燃焼防止装置… 機器が不完全燃焼するような状態（お部屋の換気不足や熱交換器の目詰まり）になる前に自動的にガスを止めます。

過熱防止装置……… 使用中機器内の温度が高くなると、自動的にガスを止めます。

上記の安全装置が作動した（途中消火に気づかれた）ときは、次の処置をしてください

- ①すぐに給湯栓を閉め、操作つまみを戻して消火の状態にしてください。
- ②窓や戸を開けて換気をしてください。
- ③しばらく（約1分）待ってから、再度点火操作を行ない、給湯栓を開けてください。
- ④点火しなかったり、途中消火が繰り返し起こるときは、お買い上げの販売店かお近くのパロマまでご相談ください。

■PH-161DHSについては下記の安全装置もついています

排気温度センサー…… メーンダクトの排気風量が低下したり、ファンが停止した場合には自動的にガスを遮断し消火させます。使用中、炎が消えたことに気づいたら、すぐ点火つまみを「止」位置に戻し消火してください。ファンが停止している場合はファンを運転させ、10分程度待ってから再点火して様子を見てください。再点火しないときや再び消火するようなときはメーンダクトの排気風量が低下していることが考えられますので、お買い上げの販売店かお近くのパロマへ連絡し排気ファンの点検を依頼してください。

凍結を防ぐには

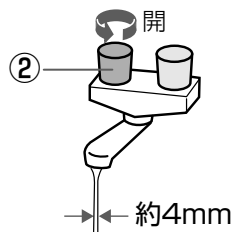
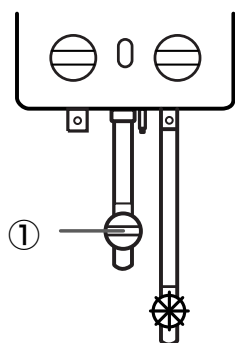
冬期には機器や配管内の水が凍結し、機器を破損することがあります。おやすみ前や、また日中でも凍結のおそれのある厳寒期には、機器の使用直後に必ず水を抜いてください。水抜きせずに凍結して機器や配管を損傷させたり、凍結による水漏れにより床・壁等を汚した場合の修理・補修費用はお客様の負担になります。



① 通水による方法

機器本体だけでなく、給水・給湯配管、バルブ類の凍結防止もできます。

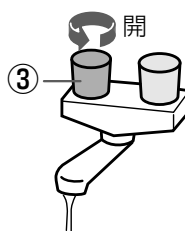
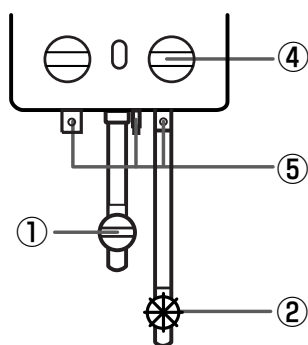
- ① ガス栓を閉めます。
- ② 給湯栓を少し開けておきます。
流量が不安定になるため、30分後にもう一度流量を確認してください。



おねがい 寒い日は多めに水を流してください。

② 機器内の水を抜く方法

- ① ガス栓を閉めます。
- ② 給水元栓を閉めます。（不凍栓使用時は不凍栓を閉め、給水元栓を全開にします。）
- ③ 全ての給湯栓を開けます。
- ④ 湯温調節つまみを低温にします。
- ⑤ 水抜き栓（2個）と水抜き栓兼安全弁をはずします。
再使用するまでこのままにしておきます。



水抜き後の使いかた

- ① 水抜き栓兼安全弁と水抜き栓（2ヶ所）を閉めます。
- ② 給水元栓（または不凍栓）を開け、給湯栓から水が出るのを確かめてから、いったん水を止めます。
- ③ 7ページの「準備と確認」から始めます。

おねがい

配管・バルブ類の凍結予防はできませんので、配管は水入口、湯出口まで保温材でおおうなどして凍結予防してください。

凍結したときは

- 凍結すると、機器の破損・異常を起こし、水漏れや空だきなどのおそれがあります。
- 凍結したときは、とけるのを待ち、水漏れや作動に異常がないかを確認してから、お使いください。
- 凍結防止せずに凍結して、機器を損傷されたり、凍結による水漏れにより床・壁等を汚した場合の修理・補修費用はお客様の負担となります。

仕 様

品 名		PH-81HS	PH-101HS	PH-161HS	PH-161DHS
型 式 名		別表「型式名」欄参照			
種類	給湯方式	先止め式			
	給排気方式	自然排気式		自然排気希釈型	
点 火 方 式		圧電点火式			
水 圧	使用水圧	80~1000kPa (0.8~10.0kg/cm ²)			
	作動 水 圧	低温	45kPa (0.45kg/cm ²)		
		高温	25kPa (0.25kg/cm ²)		
外形寸法(高さ×幅×奥行)		630×320×170mm	630×360×170mm	755×420×230mm	1005×420×230mm
質 量 (本 体)		11kg	12kg	22kg	25kg
接 続	給 水	R1/2 (15A)		R3/4 (20A)	
	給 湯	R1/2 (15A)		R3/4 (20A)	
排 気 筒 径		φ110mm	φ120mm	φ160mm	φ200mm
安 全 装 置		立消え安全装置・過熱防止装置・水抜き栓兼安全弁 過熱防止装置・不完全燃焼防止装置			立消え安全装置 過熱防止装置 水抜き栓兼安全弁 過熱防止装置 不完全燃焼防止装置 排気温度センサー 排気あふれ防止センサー
付 属 品		取扱説明書・工事説明書・木ネジ		取扱説明書・工事説明書 木ネジ・ブラケット	

使用ガス・ガスグループ		型式名	ガス消費量 kW	出湯量 (最大) ℓ/分			ガス 接続
				25℃上昇	40℃上昇	55℃上昇	
都市 ガス 用	12A	PH-81HS	16.3	7.5	4.7	3.4	R1/2 (15A)
	13A		17.5	8.0	5.0	3.6	
	L1 (6B,6C,7C用)		16.5	7.5	4.7	3.4	
	5C		17.0	7.8	4.9	3.5	
LPガス用			17.0	7.8	4.9	3.5	

使用ガス・ガスグループ		型式名	ガス消費量 kW	出湯量 (最大) ℓ/分			ガス 接続
				25℃上昇	40℃上昇	55℃上昇	
都市 ガス 用	12A	PH-101HS	20.0	9.5	5.9	4.3	R1/2 (15A)
	13A		21.5	10.0	6.2	4.5	
	L1 (6B,6C,7C用)		20.0	9.5	5.9	4.3	
	5C		21.0	9.8	6.1	4.5	
LPガス用			21.0	9.8	6.1	4.5	

使用ガス・ガスグループ		型式名	ガス消費量 kW	出湯量 (最大) ℓ/分			ガス 接続
				25℃上昇	40℃上昇	55℃上昇	
都市 ガス 用	12A	PH-161HS	32.6	(15.0)	9.4	6.8	R1/2 (15A)
	13A		35.0	(16.0)	10.0	7.3	
	L1 (6B,6C,7C用)		33.0	(15.0)	9.4	6.8	R3/4 (20A)
	5C		34.0	(15.8)	9.9	7.2	
LPガス用			34.0	(15.8)	9.9	7.2	R1/2 (15A)

©本仕様は改良のためお知らせせずに変更することもあります。

仕 様

使用ガス・ガスグループ		型式名	ガス消費量 kW	出湯量 (最大) ℓ/分			ガス 接続
				25℃上昇	40℃上昇	55℃上昇	
都 市 ガ ス 用	12A	PH-161DHS PH-161DHS-1	32.6	(15.0)	9.4	6.8	R1/2 (15A)
	13A		35.0	(16.0)	10.0	7.3	
	L1 (6B,6C,7C用)		33.0	(15.0)	9.4	6.8	R3/4 (20A)
	5C		34.0	(15.8)	9.9	7.2	
	LPガス用		34.0	(15.8)	9.9	7.2	

◎本仕様は改良のためお知らせせずに変更することもあります。

保管とアフターサービス

保管（長期間使わないとき）

水を抜きます。（「凍結を防ぐには」13・14ページ参照）

アフターサービスについて

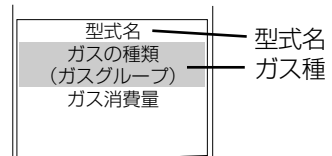
点検・修理を 依頼されるとき

「故障かな?と思ったら」を見てもう一度確認し、それでも直らないときは、お買い上げの販売店かお近くのパロマまでご連絡ください。

なお、修理のご依頼は、【電話】0120-193-860でも24時間受付いたしますので、ご利用ください。

☆アフターサービスをお申しつけのときはお知らせください。

- ご住所・ご氏名・電話番号
- 現象(できるだけ詳しく…エラーコード等)
- 型式名(銘板表示のもの)
- ご購入日・ガス種
- 道順



受付時間	平日	9:00~18:30
	土曜日・日曜日・祝日	9:00~17:00 (修理受付のみ)

ご相談窓口	住所	TEL	FAX
北海道サービスコールセンター	〒001-0033 札幌市北区北33条西7丁目1-1	011-726-2822	011-736-7374
東北サービスコールセンター	〒983-0041 仙台市宮城野区南目館20-10	022-239-1848	022-238-0838
関東サービスコールセンター	〒153-0042 東京都目黒区青葉台1-28-9越藤ビル2F	03-3719-4633	03-3715-2722
中日本サービスコールセンター	〒467-8585 名古屋市瑞穂区桃園町6-23	052-824-5188	052-824-5670
近畿サービスコールセンター	〒550-0013 大阪市西区新町3-13-20パロマアワザビル2F	06-6534-6751	06-6534-6755
中四国サービスコールセンター	〒732-0804 広島市南区西蟹屋3丁目8-12	082-262-8341	082-263-2400
九州サービスコールセンター	〒812-0016 福岡市博多区博多駅南2-9-13	092-472-0924	092-471-8400

*住所・電話番号などは変更することがありますのであらかじめご了承ください。

補修用性能部品の最低保有期間について

補修用性能部品は製造打ち切り後7年間保有しております。
長年のご使用でいたんだ場合にはお買い求めください。

ガスの種類が変わるとき

ご贈答、転居等によりガスの種類が変わるときは、お買い上げの販売店かお近くのパロマまでご連絡ください。
この場合、費用は保証期間中でも有料となります。

製造年月について

製造年月は本体貼付けの銘板でお確かめください。
銘板の読みかたは、

【例】02（製造年）・07（製造月）-123456（製造番号）です。

その他ご不明の点は

お買い上げの販売店かお近くのパロマまたは「お客様相談室」までご連絡ください。

保証書

品名	PH-81HS/PH-101HS/PH-161HS/PH-161DHS	ガス瞬間湯沸器
-----------	-------------------------------------	---------

このたびは当社製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。この保証書はお客様の正常な設置・使用状態において万一機器本体が故障した場合には、本書の記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

《無料修理規定》

- 取扱説明書、本体貼付けラベル等の注意書きに従った正常な設置・使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店かお近くのパロマが無料修理致します。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店かお近くのパロマにご依頼のうえ、本書をご提示ください。なお、離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。
- ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、お近くのパロマへご相談ください。

- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 取扱説明書によらないでご使用になったり使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
 - (ロ) お買い上げ後の取付場所の移動（取付工事依頼の必要な機器の場合）、落下等による故障および損傷
 - (ハ) 公害、火災、水害、地震、落雷、凍結等の天災地変、異常電圧（電気部品搭載の機器の場合）、供給事情（燃料・給水等）などによる故障および損傷
 - (ニ) 特殊な用途（例えば、車輛、船舶への搭載等）に使用された場合の故障および損傷
 - (ホ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入捺印のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
 - (ヘ) 消耗部品の取替えおよび保守等の費用
 - (ト) 本書の提示がない場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is valid only in Japan.)
- 本書は再発行致しませんので、紛失しないように大切に保管してください。

お客様	お名前 様	保証期間	お買い上げ 年 月 日から1年
	ご住所 〒	販売店名	店名
	お電話		住所 電話番号

株式会社 パロマ

〒467-8585 名古屋市瑞穂区桃園町6番23号
TEL 052 (824) 5145



修理記録

年月日	修理内容	サービス員◎

*この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。なお、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店かお近くのパロマにお問い合わせください。
*保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくはアフターサービス欄をご覧ください。